

雲雀っ子

令和5年12月13日発行

ねばり強く やりぬく子 ・自分で考える
・仲間と助け合う
・最後までやりきる



那加二っ子絆チャレンジデー

地域の方から学ぶ

校長 奥村 美樹恵

11月18日(土)に地域の方や、保護者、那加二小卒業生の先輩を講師に招き「那加二っ子絆チャレンジデー」を開催しました。この企画は、講師の方とのふれ合いを通し、絆を深めたり、生き方から沢山のことを学んだりすることを目的としました。

10月20日の「雲雀っ子(学校通信)」でもご紹介しましたが、1年生から6年生まで、それぞれの学年に応じた、教科等との学習とも関連させながら活動を考えました。約30名の講師の方にお越しいただきました。そして授業参観も兼ねて行ったため、沢山の保護者の皆様、そして次年度入学予定の年長のお子さんも参観されました。

保護者の方からは

- ・子どもは、沢山の驚き、発見があり喜んでいました。
- ・講師の方は、お話上手で親も楽しく聞かせていただきました。各務原の知らない事がいっぱい。とても良かったです。
- ・中学校ってやっぱり小学校と違うよねっていうのが、お話を聞いて子どもたちも、わかったと思う。

といったお声をいただきました。

また、講師の方々からも、

- ・子ども達がとっても元気で、一緒に遊べて嬉しかったし、楽しかった。子ども達から元気をもらった。
- ・子ども達はすごい!一生懸命上手く出来るコツを見つけ、頑張ろうと努力していた。
- ・一生懸命話をしていると、「うんうん」とうなずいて聞いてくれたり、質問してくれたり、興味、関心をもって真剣に学んでくれているのが嬉しかった。

とおっしゃっていただきました。

子ども達には、この「那加二っ子絆チャレンジデー」で、講師の方のすごさを実感したり親しみを感じたり、一人一人の心が動く一日になってほしいと願っていました。子ども達からはこのような振り返りのコメントがありました。

- ・これからは空いた時間などを無駄に使わず、地域の人たちのためにゴミ拾いなど自分ができることをして、環境をよくして住みやすい町をつくるお手伝いをしたい。
- ・二人(4年生の講師の方)はそれぞれ違う活動をしていただけけど、二人とも各務原市を住みやすい所にしたいという思いは同じだった。お話を聞いて、私も将来各務原を今よりいいところにして、みんなが楽しいと思える町づくりを二人を見習ってしてみたい。
- ・百人一首でいろいろな遊び方を教えてもらった。知らない遊びばかりだったけど、地域の方と一緒に遊べて楽しかった。今度はおうちに帰って、お父さんやお母さんに教えてあげて家族みんなで遊びたい。
- ・紙飛行機を遠くまで飛ばすコツを教えてもらったら、すごくよく飛んで嬉しかった。
- ・働くことは自分のためだけでなく、家族や地域の人、住んでいる町のためにもなるんだなということを知った。今自分が持っている夢は、今から努力することが大事なんだなと思った。
- ・夢に向かって頑張ることが大切なんだなと思った。明日からじゃなく今日から頑張ることが大切だと思った。今努力していることと、夢を持っていることはとても大切なんだなと思った。
- ・私はまだ働けないけど、今任されていることを自分から進んでいろんな事にチャレンジしていきたい。
- ・好きなことややりたいことなどを続けて、夢を見つけることが大切だと思った。
- ・自分の好きなことを夢にして頑張ることが、自分のためにはとても大切なことだと思った。勉強をして成績をよくすることも大事だけど、夢を叶えるために必要だと思った。

今回の那加二っ子絆チャレンジデーを通して、多くの子ども達の心が動き、自分なりにいろいろ考えるきっかけになったようです。強く、たくましく、生きる力に繋げてほしいと願っています。



■ 学校携帯の取り扱いについて ■

以前より保護者の皆様にお伝えさせていただいておりますが、本校の学校携帯については、「電話をかける」専用の電話として取り扱っております。よって、学校から学校携帯で保護者の皆様へご連絡することがありますので、学校携帯の番号登録をお願いします。

なお、折り返し学校へお電話を頂く場合や、日中(7:45~18:30)学校へお電話を頂く場合は、大変申し訳ありませんが、学校の固定電話【058-382-2241】へおかけいただきますよう、ご協力よろしくお願い致します。